講習の名称：小・中・高のつながりを意識した理科教育を考える
担当講師：小野　智信（教育学部准教授）
講習開講日：平成 28 年 8 月 21 日（土）
時間数：6 時間

主な受講対象者：理科に興味のある小学校教諭、理科を担当する中学校・高等学校教諭

キーワード：理科教育、小・中・高の履修内容のつながり、観察実験、異校種理解

講習の概要：
　自らの所属している学校種（小学校、中学校、高等学校）以外で理科の履修内容がどのように取り上げられ、さらにどのような指導手法が行われているかを比較・検討することで、理科の履修内容に関する小・中・高のつながりや連続性を意識し、授業の質向上を目指します。

講習の展開：
　第 1 時限　　学習指導要領にみる理科 4 分野の学校種別構成について
　第 2 時限　　理科教育の場面でそれぞれの学校種が抱える課題について
　第 3 時限　　授業見学（録画）による他校種理解
　第 4 時限　　協議、発表、まとめ

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：
　本講習は、ご自身が所属している学校種以外において、どのような授業がおこなわれているか、また学校種の違いによる児童生徒の特徴など、他校種の教育現場に興味・関心をお持ちの方に益の多い講習内容となります。
　講習中、VTR などで小・中・高校の授業の様子を視聴していただき、自らの授業と比較しながら意見交換をしていただきます。さらに、他校種の教育現場について日頃より抱いている疑問などを元に協議をしていただきます。
　そのため受講に際しては、他校種に関してのお考え（学習形態や教科指導内容、生活指導や進路指導など教科以外の内容も可能）を整理しておいていただき、当日に意見交換ができるようお願いいたします。

授業の形式：　講義、観察実験演習、協議、発表

履修認定試験：　論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：
　◎テキストはこちらで用意いたします。